

第2回 新座市社会資本総合整備計画評価委員会会議録

開催日時

令和3年11月24日(水曜日)

午前10時10分から午前11時20分まで

開催場所

新座駅北口土地区画整理事務所会議室

出席委員

一般財団法人日本立地センター 高野泰匡、名塚清、株式会社共生不動産投資顧問 佐藤満世、下田浩 計4名

事務局職員

都市整備部長 山本実

都市整備部副部長 久米田英之

大和田二・三丁目地区土地区画整理事務所長 廣澤真吾

大和田二・三丁目地区土地区画整理事務所主査 山崎洋

大和田二・三丁目地区土地区画整理事務所主任 佐藤広季

会議内容

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議事（社会資本総合整備計画の評価について）
- 4 その他
- 5 閉会

会議資料

資料1 公園計画平面図

参考資料1 川の国埼玉はつらつプロジェクトによる整備説明図

資料2 将来土地利用構想図（R3.11.未利用地表示）

第1回資料5 事業進捗図

第1回資料6 社会資本総合整備計画 事後評価書

公開・非公開の別

非公開

(新座市情報公開条例第 23 条第 3 号に該当)

その他の必要事項

なし

審議の内容（審議経過、結論等）

1 開会

- ・ 午前 10 時 10 分開会

2 委員長挨拶

3 議事（社会資本総合整備計画の評価について）

(1) 事務局からの説明

資料に沿って、社会資本総合整備計画に係る事後評価の実施体制、実施時期、事業効果の発現状況、成果目標値の達成状況（地区内進出企業による被雇用者の増加割合）、今後の方針等について、説明を行った。また、第 1 回に要求のあった資料等を用いて、現在の未利用地の状況、今後の土地利用計画（公園整備計画等）、進出企業と市の連携（「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」）、本社機能の地区内移転数、事業による住工混在解消事例等について、説明を行った。

(2) <質疑応答>

Q 地区内進出企業による被雇用者増加数は、新規に開業した企業の全ての被雇用者数を含んでいるのか。

A 目標数の根拠が、市が誘致する企業の想定被雇用者数だったことから、新規開業企業全ての被雇用者数は調査していない。

Q 企業を誘致したことにより、近隣住民から交通渋滞等苦情はあったか。

A 商業施設開業時には、交通渋滞に対する苦情があった。現在も、年末や引越しシーズン等、特に交通量が増える時期はある。しかし、渋滞緩和については、対応が困難であるのが実情である。一方、照明の畑への影響軽減等、施設の運用に係るものについては、その都度迅速に対応していただいている。

Q 公園は、いつ頃完成するのか。

A 具体的にはこれからの検討になるが、令和 5 年度着手、その後 2 から 3 年後の整備を目標としている。

(3) <委員意見>

- ・ 新規被雇用者数については、目標の86パーセントということなので、事務局案のとおり概ね達成で良いと思う。
- ・ 未利用地等があり、将来的な土地利用の可能性を考慮すると、現時点で目標の86パーセント達成というのは、妥当だと思う。
- ・ 物流関係等車両が増えているので、交通の実態を把握して、例えば交差点への信号設置に向けた取組みを進めるなど、安全対策に取り組んでもらいたい。
- ・ 公園その他憩いのエリアの整備が進めば、市民の楽しみが生まれるので、今後はそれを意識した事業展開をしてもらいたい。
- ・ 企業誘致をした成果として、税収増も大きいと思う。その他、数字にできない事項を含め、多面的な評価も必要ではないか。
- ・ 今後の方針として、SDGsに関する取組みについても記載できると良いのではないか。

(4) 結論

- ・ 事後評価書の「定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況」については、事務局案のとおりとする。
- ・ 「定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況」について、税収その他の効果に係る文言を追記する。
- ・ 「特記事項（今後の方針等）」について、交通対策やSDGsへの取組みに係る文言を追記する。

4 その他

- ・ 事務局から、事後評価公表までの流れについて説明した。

5 閉会

- ・ 午前11時20分閉会